

〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で自己肯定感、人や社会とかかわる力生活習慣など、将来の自立に向けてストレスに負けない生き抜く力を育む。



〈営業時間〉

月曜日～金曜日

9:30～17:30

土曜日

8:30～17:30

〈送迎の有無〉

あり



放課後等デイサービス 第4アミスター 支援プログラム

〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会とかかわる力、生活習慣など、将来の自立に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心して過ごせる居場所を目指す。

本人支援

〈健康・生活〉

「心身相関」

運動を活動に取り入れることで、食欲の増進や睡眠の質の向上等さまざまな生活習慣の乱れを改善し、生活習慣の形成、健康的な身体と心作りをおこなっています。「元気な子ども」に育つために、運動を楽しみ、「積極的に身体を動かす子ども」になることで、健康の維持ができるよう支援をしています。

〈運動・感覚〉

「楽しそう、やってみたい」

走る、跳ぶ、投げる等の基本的な動作を多く取り入れる運動療育に力を入れています。その中で子どもが「やってみたい」「面白い」と感じるような身体活動を提案したり、子どもたちと一緒に考え、取り組んだ結果「やった!」「できた!」という成功や上達の喜びを感じ、自信を持って積極的に行動できるように支援しています。

〈言語・コミュニケーション〉

「話すことが楽しくなる」

子どもたちの輪の中にスタッフも一緒に入ることによって、子どもたちの会話のキャッチボールを手助けし、幅広い話題の提供をおこなうことで、言葉や内容、人への興味関心を引き出し、子どもたち自らが、話題の提案や積極的にコミュニケーションを取ることができるよう支援をしています。その中で言葉遣いにも注目し、適切な言葉遣いや、「相手を思いやる」言葉を使うことができるように支援しています。

〈認知・行動〉

「自分の相手も大切な存在」

感情のコントロール、対人マナー、危険予知、問題解決トレーニング、相手の気持ちや考え自分の考え、伝え方などの認知ソーシャルトレーニングを個別発達支援の中で、多く取り入れることで、自分自身も他者も受け入れ、認め合い、大切にできるように支援しています。



〈人間関係・社会性〉

「みんな違って、みんな良い」

複合型福祉施設の特徴を活かし、学童や他の事業所との交流を多く取り入れ、その中でさまざまな人とのかかわりを経験し、年齢の違いや性別の違い、考え方の違い等、多様な価値観を受け入れる力を育み、人間関係の輪を広げながら、安定した関係の構築ができるよう支援しています。

〈家族支援〉

発達支援の様子等を連絡帳（保護者連絡アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談をおこない支援について共有しています。

本児が自分で考えて選択できるように、具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。



〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとのかかわりについて伝え、スムーズに移行できるように連携をとっていきます。

高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かし、自立に向けて相談事業所とともにサポートをおこないます。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとのかかわり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋げています。

自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○おもちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書館利用、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）